GOVERNOR's Monthly Letter

GOVERNOR's Monthly Letter 12

奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

Rotary 第2580地区

＃世界で、日本で、地域で、
良いことをしよう

国際ロータリー 第2580地区ガバナー月信 vol.12　June 2022

早いもので 6 月。最後のガバナー月信となりました。毎月月初に配信しておりますが、今回はいつもより遅くに配信しました。今号は 1 年間の活動、そして 5 月 31 日に開催した地区大会の総括といたします。地区大会で現況報告の動画（https://youtu.be/TL7lKZ7ZdR0）を流しました。5 分の動画にまとめるつもりでしたが、振り返ってみると報告する活動が本当に沢山あり、テンポよく編集しても 7 分弱になりました。我ながら頑張ってきたと思いますし、支えていただいた地区役員やクラブの皆さんに感謝いたします。

スタートの時のコンセプトは**“ロータリーを解りやすく”、そして“地区はクラブのサポートに徹すること”**でした。その思いは最後まで変わらず持ち続けてまいりました。

ご縁と出会いに感謝

公式訪問は 70 クラブを一つずつ回りましたが、コロナ感染拡大の影響で、延期や Zoom 訪問もいくつかございました。それでも、各クラブの皆さんから温かく迎えていただき感激いたしましたし、せっかくの貴重な機会ですので、自分なりにクラブ毎の独自の原稿を 70 種類用意して臨みました。70 クラブ目は 4 月 12 日の宮古島 RC でした。遅くなってごめんなさい。翌日、石垣 RC にも足を延ばしました。8 月に Zoom で公式訪問せざるを得なかった那覇東 RC と浦添 RC の例会には、6 月に改めて対面で伺いました。在京も沖縄も、沢山の笑顔のおもてなしをいただきました。お役を引き受ける年度が違っていたら、我々は言葉を交わす機会がなかったかもしれません。一期一会。2021-22 年度にロータリーを通して出会った皆さんとのご縁に感謝しております。(写真:4 月 12 日宮古島 RC 公式訪問)

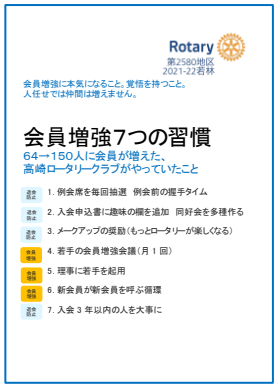
仲間と共に、例会を楽しむという原点

どのクラブも例外なく、コロナの影響でご苦労されていましたので、例会を対面とバーチャルのハイブリッドにできるよう、地区デジタル化推進委員会を作りました。

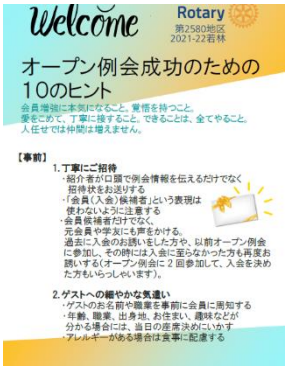
ロータリーは例会が基本だと認識しています。そしてクラブと例会の基盤となるのは会員。クラブの活性化では、会員増強が喫緊の課題であることは、毎年のクラブ会長、さらに歴代ガバナーがご苦労されてこられたことです。卓話では、**“会員増強と退会防止は両輪”**だと申し上げてきました。会員増強は、「会員数を倍にしよう」のように、目標を高く掲げて鼓舞することは間違いありませんが、クラブが求めているのはその手法であると切実に感じておりました。

これは最初に実施した GPM（私がガバナーエレクト当時に、2021-22 年度の会長・幹事・ガバナー補佐・地区副幹事とクラブ毎に行った 1 時間のミーティング）で、会長エレクトの皆さんが話されていたことです。

会員増強に関して具体的な計画をお持ちのクラブはほとんどなく、会員個々のツテに頼るだけのやり方に限界を感じていらっしゃるご様子でした。群馬県の高崎 RC がなさっていた「会員増強 7 つの習慣」をご紹介するなど、他地区の手法なども検討しました。当地区内で会員が増えているクラブを調査し、成功事例を参考にしようと試みました。しかし、残念ながら、汎用性の高い、これという決定打はありません。その中で**オープン例会の手法が見つかりました**。東京新都心 RC をはじめ、数クラブはずっと以前から 実践しているようでしたので、地区として、各クラブに手法やポイントを ご紹介いたしました。



クラブ毎に都合が良い時期に行うのも良いのですが、特定の 1 週間で**全クラブが一斉に開催する**ことで、交通安全週間のように、効果を高めることはできないだろうかと思い提案しました。10 月 18 日からの 1 週間を「オープン例会ウィーク」としてほぼ全クラブが開催予定でしたが、コロナの影響で 10 月に開催されたのは 19 クラブに留まりました。残念でどうしようかと思っていたのですが、終了後続々と吉報が舞い込んで来まして、なんと 1 クラブ当たり 2.5 人の入会希望があったと報告されました。各クラブが独自に知恵を出し合って、工夫をしてゲストをお招きし、良いアイデアは地区内で共有するという素晴らしい相乗効果が生まれました。今までの、紹介者が一人のゲストを例会に随時ご招待する方法とは違い、沢山のゲストが一緒に例会を体験するので、ゲストの方々にとってはアウェイ感が薄れ、安心して入会を決めていただくことができたのではないかと思います。また同時期に一斉にオープン例会に挑戦することで、クラブ同士が、良い意味で競っていただいたのではないかと推察しています。余談ですが、国際ロータリー第 2710 地区（広島・山口）の杉川ガバナーからも、当地区のオープン例会を参考に、第 2710 地区でもオープン例会の開催を呼びかけたと連絡をいただきました。結果、実施したクラブは、1 クラブ 2 名以上の入会の成果があったそうです。オープン例会は、東京でも沖縄でも他県でも挑戦できる、増強の最強の手法であると断言できそうです。



退会防止も工夫と挑戦あるのみ！RI のデータベース上は「正会員」と「名誉会員」の 2 種だけですが、今ではクラブによって多様な会員種類を設けることが認められています。RI 人頭分担金を支払えば、クラブ独自の会員種類を作ることができるので、クラブ会費を最低限の額に抑えたシニア会員制度を設けたクラブもございました。ご高齢でそろそろロータリーからのリタイアを考えていらっしゃるという方が、**一生涯ロータリアン**として活動いただけるものと存じます。

会員として長く在籍や貢献なさってきた方が退会し、ロータリーとのつながりが絶たれてしまうということは、ご本人にとっても、残される仲間にとっても悲しいことです。何とかロータリーライフを続けていただく方法として、シニア会員という会員種類をクラブ独自で設けることは、一つの手段だと感じます。

新しい力

今年度は沢山のクラブが創立されました。インターアクト 3 クラブ、ローターアクト 1 クラブ、衛星クラブ 1 クラブ、最後ぎりぎり間に合いましたが、東京一ツ橋ロータリークラブの創立が地区大会で発表されました。これからしっかりと運営していただき、第 2580 地区の一員として成長されることを期待しています(写真は東京麹町スターRSC のチャーターメンバーです)。

動画のパワーと YouTube

対面で研修もできない中、地区の YouTube チャンネルに力を注ぎました。情報の発信は必要だと思いますが、書面だけではなかなかお読みいただけない。関心をどうしたらロータリーに向けられるか。意を決して私自身が出演？することに決めました。当初はぎこちない動きでしたが、終わりの頃は慣れてまいりまして、キャスター気取りであったと思います。また、ロータリーとして気になった事柄、知っておくべきこと等々、ラウンジチャットと称して、クラブの会長、地区役員にご協力いただき座談会形式で撮影いたしました。そういったことで最後は 80 以上の動画を公開しました。YouTube チャンネルがあることで、地区大会の千玄室 RI 会長代理のご講演を後から拝聴したり、山崎直子様のご講演を好きな時にスマートフォンで楽しんだり、今までできなかったことが可能となりました。地区デジタル化推進委員会や地区幹事団の献身的な協力で実現しました。心より感謝申し上げます。

ポリオ根絶まであと少し

東京麹町 RC 会員でいらした、偉大な大先輩の山田彝さん(写真上)、峰英二さん(写真下)を忘れてはなりません。お二人は、ロータリーのポリオ根絶活動推進の先駆者です。公式訪問時にはできるだけポリオのお話をするようにいたしました。ポリオプラス基金への寄付目標額を、一人当たり 30 ドルから 80 ドルにしていただきたいとお願いいたしましたが、結果ポリオプラス基金への寄付総額は、前年度 2 倍(約 16 万ドル)に膨れ上がりました。ビル・ゲイツの財団が、ロータリーの寄付の倍額を上乗せしてくれることから、皆さんからのご寄付はさらに大きな額となり、ポリオ根絶活動に役立てられます。心よりお礼申し上げます。“ポリオ根絶まであと少し”ですので、頑張って支援を継続してまいりましょう。

献血は命を救う活動です

奉仕活動では、コロナ禍のため血液が集まらず、日本赤十字社から献血活動の依頼がございました。普段、あまり献血活動をされていないクラブが多いのですが、ローターアクトと共に、基本分区単位での活動をお願いしました。合計、一斗缶20缶分(約35万ml)の血液が集められました。ホストクラブやガバナー補佐の皆さんに感謝いたします。

地区大会

5 月 31 日に開催した地区大会は、国際ロータリー会長代理として茶道裏千家前御家元千玄室大宗匠様をお招きして開催することができました。御歳99歳、白寿になられました。地区大会では2回のご講演、3回のご挨拶をいただきました。「過去 現在 未来」の題でのお話は第二次世界大戦でのご自身のご体験を話していただき、思わず涙した次第です。これらのお話を胸に重く受け止め、私たちは活動を進めなくてはなりません。YouTube チャンネルで関係者だけに限定公開しておりますので、ぜひご覧ください。

また、元 JAXA 宇宙飛行士の山崎直子様の夢ある素晴らしいご講演「宇宙、人、夢をつなぐ」は、番町小学校と麹町小学校(写真)にもライブ配信しました。各教室では、山崎直子様がモニターに映し出されたとき、大歓声と拍手の嵐だったと聞きました。子どもたちの夢、どんどん大きく膨らんだことと思います。 これこそロータリーらしい奉仕活動、青少年奉仕の一コマだと思います。将来、ロータリーが宇宙ゴミを拾うといった奉仕活動が現実になるのではと思います。

新入会員昼食会では、主に入会3年未満の方々と私が直接語る時間を持ちました。ロータリーの世界は広い！色んなクラブの方と一緒に食事をして、名刺交換をして、ロータリーが世界で良いことをしている、クラブの例会だけではわからない一面が見られたのではないかと思います。私も些か緊張いたしましたが、精一杯返答したつもりです。ありがとうございました。

「ポール・ハリス・ソサエティ（以下 PHS）とメジャードナーの集い」は、我が地区では初めての開催になりますが、日頃からロータリー財団をご支援いただき、お支えいただいている多くのメンバーにお集まりいただきました。とりわけ、PHS は直前まで 99 人でしたが、見事 100 人目が現れ、結果 105 人まで膨れ上がりました。地区ロータリー財団委員長の吉田雅俊パストガバナー、司会の本多良美地区ロータリー財団副委員長、そして多くの皆様のご協力感謝申し上げます。

本会議は今までにない形式を取りました。74 クラブの会長 （議長含む）が最後まで会場にいるためにはどうすれば良いか。色々考えた挙句、「そうだ！74 人を人質にしよう」、名付けて「人質大作戦」
・・・いかがだったでしょうか？
ステージには７４名の会長・議長がずらっとお座りになる、素晴らしい景色が現れました。他地区の方からは「オーケストラのようだ」と言われました。

そこで今大会一番の企画であるアワードの発表が出来ました。一つずつアワードが発表され、会長議長はもちろんのこと、会場の会員全員がその一瞬一瞬に固唾をのんで見入っていただきました。東京荒川ロータリークラブがグランプリを受賞しました。人生の大先輩である井上会長が演台にお越しになり、涙ながらに感謝の気持ちを述べられました。これぞロータリーです。大きな感動が生まれた瞬間でした。

惜しくもアワードを取れなかったクラブが圧倒的に多いのですが、どうか受賞されたクラブの活動等を参考に、再度素晴らしい奉仕活動に邁進いただきますようにお願いいたします。紙一重で受賞を逃したクラブばかりでした。本当にごめんなさい。

最後に千玄室大宗匠様から所感をお話しいただき、閉会となりました。大宗匠様には早朝より、長時間お付き合いいただきました。翌日ご確認いたしましたが、既に次のスケジュールに向かっておられ、すこぶるお元気だと伺いました。

ロータリーへの想い

ロータリーは単年度で、毎年毎年、会長はじめリーダーが変わります。

しかし、リーダーが交代しても、ロータリーの根本のところ は変わりません。親睦と奉仕、自分自身を磨いて、素晴らしい企業を経営する、職業を通して社会に奉仕する、これらのことを肝に銘じ、新しい年度を迎えていただきたく思います。

お叱りをいただくのを覚悟で書きますが、ロータリーそして第 2580 地区の未来は、試行錯誤ではないでしょうか。

これがベストだ、あの時がベストだ、最近のロータリーはダメだと頭から否定してしまう、固定してしまうと、衰退に繋がるのではないかと思います。

当然、ロータリーの本質、先ほど書きましたが、親睦と奉仕、職業を通しての奉仕活動、高潔な人になること、高潔な人を育てること。これは何年経っても変わらないことではないでしょうか。そしてロータリーは世界で困っている方を支援する。この目的がある限り組織の形態にこだわる必要はないと思います。ダメなやり方ならやり直す、試行錯誤の連続です。それが単年度制の良さだと思います。確かに昔は良かったと思うこともあります。一業種一人の時代から変わりました。1 年間のメークアップ猶予、テリトリーの有形無実化、そのほか沢山、RI の規定はどんどん甘く書き換えられていっていると感じることもございます。だからといって、ロータリーを否定し、抵抗することは違うと思います。ロータリアンの広い心で友情を育み、奉仕活動に邁進する、そのことを第一にお考えいただきたく思います。

特に新しい会員は今からロータリー人生がスタートします。そういった方々に「昔は良かった」などと言ったところで理解はできないし、逆につまらなくするだけです。これからの話、夢のある話、高潔な人としてのあり方を話し、伝え、受け継いでいくことを希望します。

最後に…

この 2 年半、共に協力、活動いただいた各会長はじめクラブの皆様、汗をかいて、折れそうになった私を支えていただいた地区役員やガバナー事務所の皆様、ずっとそばでサポートしてくれた家族に、心より感謝します。感謝と感激しかございません。ありがとうございました。

これからはパストガバナーとして国際ロータリー第 2580 地区を応援してまいります。

2022 年 6 月吉日

ありがとうございました

Hidehiro Wakabayashi

国際ロータリー第 2580 地区ガバナー　若林英博

ウクライナ支援活動のご報告　　地区国際奉仕委員長　吉田弘和

「地区大会おこしやすコーナーでの友好支援バッチ販売」

地区大会の“おこしやすコーナー”にて、ウクライナと日本の国旗の襟ピンを販売いたしました。その売り上げ金 213,000 円は、スロバキアのロータリアンが設立したウクライナ支援のための口座へ送金いたしました。

地区内クラブから　ウクライナや周辺国の状況や繋がりについてたくさんの情報を提供いただきました。それを一つ一つ精査、関係者の皆さまとも相談した結果、スロバキアのコシツェ(Košice)でのロータリーが中心になっているウクライナ難民支援口座を送金先に選びました。Košice は　スロバキア第2の都市でウクライナとの国境近くに位置しています。寄付金を契機に今後　現地との連携も深めていく予定です。数ある支援策の中で　このプロジェクトを選定したのは　①2580地区から青少年交換でKošiceに派遣した歴史があり、いまでも現地と密接につながっていること　②2580地区にスロバキアとの交流があるロータリアンが少なくなく、この支援活動もサポートいただけること、③ウクライナの戦場ではなく、周辺国経由の支援で、人道支援に特化できること、④国際政治、歴史、文化の観点からも　ふさわしい旨、外務省と相談できたこと⑤すでに先行しているロータリー活動であり、プロジェクトが安定していて透明性も確保できていること　⑥日本では他地区の取り組みがまだ限られていること、等によるものです。今後もウクライナの状況を注視しつつ、我々ができる取組を進めていきます。

ローターアクトクラブのウクライナ人道支援募金活動

地区副幹事　東京ワセダローターアクトクラブ　鈴木宏美

Rotaract

東京ワセダローターアクトクラブ主幹で、ウクライナ人道支援募金活動を 5 月に 3 回実施しました。(当地区 RA 年次大会、東京ワセダ RC 学友会、当地区大会)合計で 139,405 円の募金にご協力いただき、内 50,000 円はロータリー財団の災害救援基金、残りの 89,405 円は、ポーランド在住の坂本龍太郎様を通じてウクライナドンバス地方へ支援物資(子供と大人の保存食)をお届けいただきました。たくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。

▼坂本様プロフィールはこちら

https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2022-05-17-66496-32/

心よりお悔やみ申し上げます

藤本　貞勝（ふじもと　さだかつ）会員
東京上野ロータリークラブ
ご逝去日　2022 年 4 月 23 日　　享年 79
入会日　　1984 年1月 14 日　　チャーターメンバー
㈱ダイワコーポレーション　代表取締役社長
ポール・ハリス・フェロー　　米山功労者マルチプル

津覇　好延（つは　よしのぶ）会員
東京城東ロータリークラブ
ご逝去日 2022 年 5 月 12 日　享年 90
入会日　1966 年 3 月 19 日　チャーターメンバー
津覇車輛工業㈱　取締役社長（車輛製造）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター　　米山功労者

奥山　聡(おくやま　さとし)会員
東京お茶の水ロータリークラブ
ご逝去日　2022　年　5 月　16　日　享年　64 歳
入会日　2010 年　7 月　7 日
日本官帽制帽㈱　代表取締役
ポール・ハリス・フェロー　　米山功労者マルチプル

乙部　正幸（おとべ　まさゆき）会員
東京福生ロータリークラブ
ご逝去日　2022 年 6 月 14 日　享年 53
入会日　　2013 年 4 月 3 日

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。

ロータリー財団・メジャードナー

レベル 1	池田　正孝	（東京江戸川中央）		

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

7 回	金子　高一郎	（東京ベイ）		
4 回	田中　久光	（浦添）		
3 回	渡辺　恵太郎	（東京江戸川中央）		
2 回	牛島　聡	（東京お茶の水）	鈴木　祥太	（東京ワセダ）
	松下　和正	（東京本郷）	田村　純治	（東京江戸川中央）
	長谷川　隆	（東京江戸川中央）		
1 回	西村　美智子	（東京お茶の水）		

ポール・ハリス・フェロー

	神保　宏充	（東京お茶の水）	平元　忠	（東京ワセダ）
	梅村　吉博	（東京ワセダ）		

米山功労者

	亀井　忠夫	（東京）	比嘉　アーネスト M.	（東京）
	石川　彌八郎	（東京福生）		

お知らせ

千玄室国際ロータリー会長代理「ロータリーと共に」本会議ご講演ビデオ
https://youtu.be/8VOpfIV1C_w

千玄室国際ロータリー会長代理「過去　現在　未来」会長幹事会ご講演ビデオ
https://youtu.be/RxeuVSCtqQw

山崎直子様「宇宙、人、夢をつなぐ」ご講演ビデオ
https://youtu.be/vlHBg1b4RDc

・・・・・・・・・・・・・・・・・国際ロータリー第 2580 地区・・・・・・・・・・・・・・・・・

ウェブサイト　　LINE アカウント　　YouTube チャンネル

Rotary 第2580地区
発行：国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所
〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館1階
TEL:03-3538-0211 FAX:03-3538-0212 E-mail:office@rid2580.org URL:https://www.rid2580.org/